

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	高知市駐車場の管理運営				
所管部局	都市建設部	部局長名	山本 頼男	予算事業名	管理運営費
所管部署	都市建設総務課	所属長名	松内 裕子	予算事業科目(平成26年度)	180101010130

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	99	その他の行政経費及び一般行政経費	施策 取組 方針	その他の行政経費及び一般行政経費	
政策	99	その他の行政経費及び一般行政経費			
施策	99	その他の行政経費及び一般行政経費			

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	地方自治法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市駐車場条例及び同施行規則等	
その他(計画、覚書等)	高知市駐車場の管理運営に関する基本協定書、年度協定書	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	駐車場の運営		
意図	どのような状態にしていのか	最小の経費で最大の効果、施設の安全で公平な活用と運営の合理化等の達成を図る。		
手段	事業実施体制等	指定管理者を選任し、業務委託する。	事業開始年度	平成18年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高知市の公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例及び同施行規則に基づく指定管理者の選任 ○ 高知市の公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例及び同施行規則に基づく各種関係書類の作成、承認 ○ 各種報告書による運営状況の確認 ○ 指定管理者の業務評価 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	適切な管理運営がなされたか(%)	過去3年間の駐車場使用料の推移、年度当初の目標との達成度について	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標	100	100	100	100	駐車場使用料(単位:千円) (使用料実績/当初予算額) 23年度 259,392/260,498 24年度 244,947/249,785 25年度 247,961/247,360	
		実績	99.6	98.1	100.2			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	105,000	105,000	105,000	108,000		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	105,000	105,000	105,000		108,000
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	2,160	2,220	2,190	3,600		
		正規職員(千円)	2,160	2,220	2,190	3,600		
		その他(千円)						
		人役数(人)	0.30	0.30	0.30	0.50		
		正規職員(人)	0.30	0.30	0.30	0.50		
		その他(人)						
		総コスト=①+②(千円)	107,160	107,220	107,190	111,600		
市民1人当たりコスト(円)		317	317	318				
年度末住民基本台帳人数(人)	337,875	338,397	336,845					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○社会全般の経済動向に影響されるが、特に高知市中心街への車の流れ、駐車場の動機付けを促す魅力がなければ必然的に利用の減少は免れないところで、中心街の活性化と大いに関連する所である。商店街の空洞化と相まって跡地に駐車場の上限設定を設けた利用料金の安価なコインパーキングが設置されるなど、駐車場事業の経営も年々厳しさを増していることから、利用低下傾向の克服が大きな課題といえる。

○使用料収入は年々減少しているとはいえ管理運営費（指定管理料）との単純比較では、単年度黒字となっている。駐車場事業全体（特別会計）で捉えると、地下駐車場の建設費が主な要因である累積赤字は平成25年度決算段階で約8億円となる。この解消に、少なくとも現在の駐車場使用料収入を維持し、なおかつ経費の削減に努めれば、平成32年頃には黒字転換が可能と予測している。

但し、平成29年度完成予定の新庁舎建設に伴う来庁舎用の駐車場確保による県庁前通り地下駐車場の料金収入の減少が予想され、駐車場のあり方等の再検討を実施する予定。

6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明	
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B (3) 一部結びつく	A	4.0	高知市総合計画等に沿った事業（両地下駐車場については、都市計画決定済み）	
		C (1) あまり結びつかない	D (0) 結びつかない				
② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B (3) 横ばいである	B				
	C (1) 少ない、減少している	D (0) ほとんどない					
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している		B (3) 概ね達成している	B	3.0	利用の減少傾向については、高齢化や公共交通の利用促進、中心商店街の活性化とリンクしており、今後の社会・経済状況の変化に応じ事業内容の有効性を検証する事が必要だと考えている。
		C (1) あまり順調ではない		D (0) 十分な成果を望めない			
④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B (3) 概ね妥当である	B				
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 見直しが必要である					
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない		B (3) 行政主体が望ましい	A	4.0	民間でも十分対応できる事業と考えている。機械式のため運営コストのかかる県庁前通り地下駐車場の見直しによって、コスト削減の可能性が考えられる。
		C (1) 検討の余地はある		D (0) 十分可能である			
⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B (3) 概ね効率的にできている	B				
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 十分可能である					
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い		B (3) 概ね保たれている	B	4.0	利用者に負担を頂き、公平性は一定維持されている。
		C (1) 偏っている		D (0) 公平性を欠いている			
⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B (3) 概ね適正な負担割合である	A				
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 検討すべきである					
総合点	15.0	総合評価		A 事業継続	（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
				○ B 改善を検討し、事業継続	（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）		
			C 事業縮小・再構築の検討	（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）			
			D 事業廃止・凍結の検討	（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）			

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	所属長評価のとおり
○ B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項